

FGB ジャパンニュース第 259 号(ホームページ第 3 号)



フルゴスペル

FULL GOSPEL

「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。」(イザヤ 41:10)



Full Gospel Business Men's Fellowship International in Japan



Full Gospel Business Men's Fellowship International in Japan

FGBMFI基本指針

ビジョン

私たち (FGBMFI) のビジョンは、神が創立者デモス・シャカリアンに与えられたものである。このビジョンはデモスがそれまでに受け取った数々の預言と一致する内容であった。デモスは、この不思議な幻 (ビジョン) を通して、与えられた預言が神からの召命であると確信した。

デモスは、幻の中で、地球上のすべての大陸、あらゆる国々、そこに住む様々の言語、文化、慣習を持つ人々を見た。しかし、人々の表情は一様に暗く、硬く、怖れと不安におびえ、人間同士のつながりも失い、まるで死人のようであった。デモスが神に叫ぶと、神は地球を一回転させ、次に起こることを見せられた。それは、先の人々が霊的に生き返り、救いを得、聖霊に満たされ、解放された姿だった。人々の顔は神の栄光を映し出すように輝き、喜びに満ちあふれ、諸手を挙げて神を賛美していた。

私たちは、イエス・キリストの再臨の前に、このビジョンから目を離さず、聖霊の油注ぎを受け、『世の終わりの大収穫』のために力強く用いられる“普通の信徒たち”になる。そして地球的規模で大きな宣教のうねりを起こすことを目指す。(使徒2:17~21、ヨエル2:28~32)

ミッション

私たちは、

1. 全世界へ出て行き、あらゆる国の人々にイエス・キリストを告げ知らせる。
(マタイ28:19)
2. 男性たちを神へと立ち返らせる。(ルカ15:4~7)
3. 信じる者たちが聖霊のバプテスマを受け、霊的に成長できるよう支援する。
(使徒19:1~6)
4. イエス・キリストの大宣教命令を果たすために必要な資質・能力を身に付けるため、男性たちに訓練の機会を提供する。(マタイ28:19~20)
5. すべてのクリスチャンに対して、良きフェロシップ (親交) の機会を提供する。(ヘブル10:24~25)
6. イエス・キリストの体に属するすべての人々に、さらなる一致をもたらす。
(エペソ4:3)

以上のミッション (使命) に全力を尽くす。



第36回 FGBMFIジャパン全国大会を振り返って

FGBMFI ジャパン会長：保田 勝巳

大会のテーマは『兄弟たちが一つに！』。大会聖句は「見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんといいあわせ、なんといい楽しさであろう。」

(詩篇133：1～3)でした。

テーマ通りの素晴らしき良き交わり（フェロウシップ）ができた3日間であったと感じています。

全員参加の双方向の大会であって、参加の素晴らしい賜物が油注がれて参加者全体に祝福として流れたと思います。まさに詩篇133篇の光景が、びわ湖畔の天津の地に現れたと思いました。

私が一番祝福を感じる時間は、早朝6時からの、早天祈祷会です。聖書箇所を、参加者で分かち合い、それぞれの必要な祈りの課題を分かち合う時間は、油注がれた祝福の空間でありその時間を仲間と共有する至極の祝福の時間です。大会の一日の始まりのひと時です。今年は2時間の時間設定をして、十分な分かち合いが出来ました。聖書をもとに、心一つにして祈ることが、FGBMFIのミッションの一番の祝福だと思います。

『SOTV』（スクール・オブ・ザ・ビジョン）と『49のキリストの品性』（The Power for True Success）を2本の柱に、大会を進め、そしてFGBMFIの世界的なビジョンであるWEB戦略のワークショップのセッションも、設けました。

デモスのレガシーを、再度確認する『SOTV』のトレーニングを昨年からはじめ、今年新たに10名のメンターリーダーが育成されました。このリーダーを軸に、それぞれのテキストをベースに、メッセージを語ってもらう事ができました。リーダーのパーソナリティーが異なり、受け止め方もそれぞれカラーが出ていて、テキストを読み込む中で、神様が示されることも異なりその多様性が大きな宝であるとも思いました。それぞれのチャプターでの取り組みが期待されます。

『49のキリストの品性』は、今大会にあわせて、アメリカの出版元と連絡調整して、全国大会に臨みました。全国大会にあわせて今後のこのテキストの活用が期待されます。3グループに分かれてのワークショップもそれぞれのリーダーの個性が発揮されて活気ある時間になりました。今後のチャプターの活動につながればと期待されます。

WEBの利活用のセッションは若いメンバーの、大阪チャプタープレジデントの中島さんと鈴鹿チャプターの中野兄にリードしてもらいました。事例紹介をして今後の具体的なミッションにつながる素晴らしいセッションでした。

全国大会では、参加者がインパクトを受けましたが、それぞれがチャプター、働くマーケットプレイスで、ミニストーリーを展開するのか、神様からそれぞれが受けとった応答を、ミッションとして展開していく事を祈ります。素晴らしい油注ぎが約束されていると確信しました。

主に栄光。ハレルヤ。



全国大会の恵み

FGB ジャパン第一副会長：
大阪チャプター：島村 啓至

今回の全国大会に備えて祈っているときに、主から示されていたことは、

- ① 賛美と祈りが新しい領域に引き上げられる
- ② 一人一人のミッション、仕事、家庭のビジョンが与えられ、強められる
- ③ FGBMFI日本のビジョンが強められる

この三つのことが自分にも与えられたし、メンバーの中で主の啓示、ビジョンを受けていた方々、ビジョンと聖霊の油注ぎ強められていた方がたくさんいました。

賛美と祈りが恵まれ、主の臨在が満ち溢れ、聖霊の知恵と力と愛を与えられ、この全国大会の後、ひとりびとりが実生活の現場、マーケットプレイスに、主によって遣わされて行きました。

FGBMFI日本が、信徒の宣教団体として、ますます用いられますように、終末の時のリバイバルに大いに用いられますように祈ります。



第36回 FGBMFI日本全国大会を終えて

FGB ジャパン第二副会長：
東京チャプタープレジデント： 若月 薫

甲賀さんの讚美の音がずっと頭に残っています。

「誰も見たことのないことが 今この地に起こる
誰も聞いたことのないことが 今起こる祈りは聞かれている 叫び続けよう
主の為なされる 御業を伝えよう
荒野には道を 荒れ地には川を
新しいことが 今この地に起おこる」

荒野や荒れ地はどこか？それは今のビジネスの現場だ!!無機質な建物や機械に囲まれ、弱肉強食が横行する毎日。そこに生きるつらさを知り、かつだからこそ聖書の神様が常にとともにいてくださるありがたさも知っている人々が、その荒野でともにつらさを共有し苦勞している隣人に、神様がともにいてくださる事のありがたさを身をもって伝えていくことができます。

日本で最も荒れ地化が進んでいるのは東京でしょう。そこに道が、川ができることを、祈りつつビジネスの現場に足を運ぶ兄弟姉妹たちに主の祝福がありますように！



第36回 FGBMFIジャパン全国大会を終えて

FGB ジャパン財務局長；

びわ湖南チャプター：上坂 明靖

第36回 FGBMFI全国大会が、滋賀県大津の琵琶湖畔にあるアヤハレークサイドホテルにて10月11日（土）～13日（月）の3日間の期間で開催されました。目の前に琵琶湖が一望でき素晴らしいロケーションでした。「第36回」ということは、年一回開催されているので36年の歴史があるということになり、なかなかの歴史を感じます。参加者は30名とやや少なめな感じでしたが、いつもの顔ぶれに懐かしさを覚えました。参加者の7割くらいが男性クリスチャンのビジネスマンです。

本大会のテーマは『兄弟たちが一つに！』。大会聖句は「見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんとというしあわせ、なんとという楽しさであろう。」でした。テーマのとおり素晴らしき良き交わり（フェロウシップ）ができたと感じています。

大会のプログラムのひとつに、早天祈祷会があります。朝の6時から朝食までの時間に自由参加のかたちで持たれました。朝食が8時からなので2時間という結構な時間なのですが、たいへん満たされた時となり、もう8時？という感じです。聖書のある一章を一節ずつ輪読し、目に留まった箇所の感想やエピソードなどを分かち合います。一節一節は短いものですが、そこから出てくる各自の感じることや示されたことは深く広く興味深い内容のものばかりです。そして各々の話のちょっとした接点からさらに話が広がり、また深まっていきます。新たな見いだしと気づきがあり、次の日の早天祈祷会への期待感も高まります。この素晴らしき交わりを、普段のチャプターでの活動の場（たとえば朝マック）でも体現できたらと展望します。



FGBMFIジャパン全国大会を終えて

明石チャプタープレジデント；伊藤 勝弘

第36回 FGBMFI全国大会が、滋賀県大津の琵琶湖畔にあるアヤハレークサイドホテルにて10月11日（土）～13日（月）の3日間の期間で開催され久しぶりの2泊3日に参加することができました。今回の大会のテーマは『兄弟たちが一つに！』。

大会聖句は「見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんとというしあわせ、なんとという楽しさであろう。」でした。

各チャプターの証しやSOTVで学んだことについて分かち合いました。毎年全国大会に参加するたびに恵みをいただき感謝です。この恵みを持って帰り私のマーケットプレイスに生かしていきたいと思えます。

全国大会が始まる前の私の生活は、この10月から以前に勤めていた会社から「事業拡大するから来て欲しい、就労支援A・B型の混合の事業所を立ち上げたいから」とお話がありました。実は、3年ほど前から声を掛けられたのですがずっと断り続けていました。

今年に入ってからメールが来たのでこれは導きかもしれないと思ってその前に見学に行きました。いつの間にか大きくなり、利用者さんの数もスタッフも増えていました。

現在勤めている会社は、9年前に就労A型からのスタートでした。私が退職してから障がい者のグループホームを立ち上げ、今年に入って1号館から3号館まで（サテライト型）と今年の1月から放課後デイサービスと、あと9月に神戸市中央区にグループ会社で就B型を立ち上げて10年目にして大きく会社として成長されたのです。今も株式会社松鶴放課後デイサービス『ぴのぐる』、就労支援A型ぼん酢工房、障がい者グループホームパインクレイン（サテライト型）のサービス管理責任者として勤務し、明石・神戸で地境を広げ日々奮闘していきます。

「ヤベツはイスラエルの神に呼ばわって言った。『私を大いに祝福し、私の地境を広げてくださいますように、御子が私とともにあり、わざわいから遠ざけて私が苦しむことのないようにしてくださいますように。』そこで神は彼の願ったことをかなえられた。」

（I 歴代誌4：10）



第36回 FGBMFI Japan 全国大会の報告

神戸チャプタープレジデント；甲賀 亘

去る2025年10月11日(土)から13日(祝・月)までの3日間、滋賀県大津市におの浜、琵琶湖畔のアヤハレクサイドホテルにて全国大会が開催されました。

今大会のテーマは「兄弟たちが一つに！」、大会聖句は「見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんとというしあわせ、なんとという楽しさだろう。」詩篇133:1でした。

○School of the Vision

(スクール・オブ・ザ・ビジョン:SOTV)

今大会では、現在 FGB で進めている SOTV の働きについてセッションを持ちました。SOTV は、前国際会長の故マリオ・ガルシア氏と副会長のジョン・カレット氏が、FGB の原点を学ぶこと、また、各国、各チャプター、各メンバーの活性化のために、デモス・シャカリアンが考えていたことを「地上最大の成功者」だけでなく、デモスの残した8冊の冊子をテキストに SOTV の働きを始められました。

名称にスクールとありますが、いわゆる学校ではなく、学派、一門、群れの意味合いで「ビジョンを重視する群れ」といった意味の名称です。

FGB ジャパンでは、昨年、一般コースを開催し、その後、メンターコースを開催、10名が卒業しメンターとなりました。

「地上最大の成功者」だけではわからなかった様々なことを学びました。今後もテキストを読み、デモスの遺志を継いでいくことが重要だと感じています。

テキストは FGB のホームページに掲載されているので、どなたでも読むことができます。

また、メンターコースで学んだメンバーはチャプターで教えることができるようになるため、今後、皆さんも学ぶことができるようになります。SOTV で学ぶことにより、原点に立ち返りますます働きが拡大していくことに期待します。

今大会では、各メンターがコースで担当したテキストの箇所を参加者に紹介、説明しました。

○SNS・Web

長らく機関紙フルゴスペルについては紙媒体で印刷して作成していましたが、郵送費の値上げで費用が高んできたことやデータを求めるメンバーも増えてきたため、ホームページ上に掲載していくことになりました。

また、現代の有効な伝道ツールとして、SNSの活用の必要性が高まってきていることに応えて、FGBのWeb作業グループを立ち上げました。

大会では、グループの主要なメンバーから初めはクリスチャンビジネスマン向けのものに注力し、今後、未信者向けの働きを行っていくことに決定しました。

○49のキリストの品性

アメリカのキリスト教系出版社の「49のキリストの品性」について、日本語翻訳の承諾を得、リーフレットを印刷していましたが、これをテキストとして、各チャプターで学びを行っています。

今大会では、鈴鹿、びわ湖南、神戸の各チャプターのリーダーを中心として3グループに分かれてワークショップを行いました。

各グループごとに別の内容、それぞれのチャプターごとの進め方により行い、我々が身に付けるべきイエスの品性について分かち合いました。

○証し

全国大会では、メンバーの証しを聞くことが重要ということで、出来るだけ多くのメンバーに証しをしてもらうようにしています。

今大会では、参加されたほとんどのメンバー、レディースに証しをしてもらいましたが、特に病の癒しについて多くの証しがありました。3人同時に別々の病院に入院していたメンバーより、互いに理解しあって祈れる仲間がいることは素晴らしいとの話がありました。

○第二回定期会員総会

全国大会の会期中に第二回定期会員総会を行うこととされており、今総会では、理事(留任)と会計監査、また特に若月氏の第二副会長(ナショナル・バイス・プレジデント)の選任に係る人事案件、今後の活動方針、特に2026年の全国大会を7月に開催すること、また2026年の予算案について提案があり承認されました。

○終わりに

今大会では、当初メッセージーにと考えていたアジアのFGBのメンバーが同時期に開催されるアジア・パシフィックのコンベンションにほとんどが参加するということができませんでした。これによって大会参加者がジャパンのメンバーのみとなり、期せずして大会のテーマによりよくマッチしたものとなりました。

私個人としては、毎年恒例で行われている早天の聖書の分かち合いの中で、聖句を真ん中に皆が集まり真剣に話し合う様子が「兄弟たちが一つに！」という大会テーマ通りとなっている事が印象に残りました。

大会は終了しましたが、各チャプターで取り組んでいる働きに加えてSOTVの働きに注力して、チャプターと各メンバーを活性化させ、デモスの遺志を継いでいくことが大切だと感じています。

この事を踏まえて、ますます、主の働きであるFGBの働きに邁進していきましょう。



第36回 FGBMFIジャパン全国大会を終えて

富山チャプタープレジデント；中村 康二

今回の全国大会は大変有意義な大会だったと思います。

いまFGBでは「49のキリストの品性」、またSOTVのメンタコースを学んでいました。

今回の全国大会で、自分たちが学んだ、その学びの中から1人1人が学んだ事を発表する機会を与えられ証しを含め発表をする事が出来ました。

私の担当は、財政について教えられたことを証しする事でした。

ここで教えられたことは、神様に喜んでささげる捧げものは幾倍にもお返しされる事またビジネスも大いに祝福を受けることが参加された方々の証しも含めて、改めて神様に栄光をお返しします。

また全国大会の参加は、私にとって信仰の刷新を神様から信仰のチャレンジを促されているような大会でした。

私は、本当に小さなものですが、そのような私を愛して下さるイエス様に感謝します。

賛美に住まわれる神様を心から感謝し捧げる賛美は今回の全国大会を喜んで下さっていると
思います。

短いですが、愛する兄弟姉妹に、主の祝福がありますようにお祈りします。



第36回FGBMFI JAPAN 2025年全国大会 その後の歩み

アドバイザー
大阪チャプター；伊藤 俊明

今大会の大きな特徴！

大会テーマは「兄弟たちが一つに！」でした。

大会聖句：「見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんとというしあわせ、なんと
いう楽しさであろう。」（詩篇133:1）

からきています。

今大会は初めてゲストスピーカー無しで、全てがメンバーによって構成され、スピーカーも
SOTVの各メンターが担いました！これは画期的なことなんです。各教会の信徒達が全国から
結集し結束して、デモス・シャカリ안의ビジョンをミッションとして遂行することをも
う一度、この機会に再認識した大会でした。

次世代への継承！

この大会が開催される直前に、ホームページ管理担当者が1名から3名となり、各自の賜物
を活かしたホームページ委員会（編集部）が結束したことです。

大会2日目に、この担当者達が、今の世代、次世代のためのSNSを発展させる端緒を、詳細
に熱く語りました。また参加者各自にホームページのコンセプト、方向性を丁寧に拝聴され
ていました。

大会賛美を支えるファンデーション！

FGB全国大会のもう一つの重要な特徴は、賛美チームです。賛美、音楽によって会衆と主の臨在が一体化する、それを支えるのがPA（Public Address）です！FGBの大会は質が高いと自負しています！

次世代とともに歩む！

SOTVで学んだことで、私の中に刺さった一番大きなことは、「クリスチャンに引退（定年退職）はない！」ということです。デモス・シャカリアンは病室で看護師に車椅子を押されながら病床伝道をしていました。

*出しゃばらずに、謙遜（49のキリストの品性；その27）に次世代のメンバーとともに歩む！出来るかな～～～あ??????



全国大会の感想

びわ湖南チャプター；清水昭光

2日目の第二回定期会員総会から参加しましたが、メンバーの方々の顔を見て「帰って来たな～」という感覚と同時に、SOTVについて、「学びが遅れているな！」という印象を受けました。

3日目の早天では、「愛」をテーマに第Iコリント13章から分かち合う時間を持ち、そこでSOTVのS→スクール（群れ）の意味があることを知りました。

群れである以上、そこに神様が愛を注いでくださることの大切さ並びに、試練に直面した際に、立ち止まること、振り返り、そして走り続けることが求められることも分かち合うことが出来ました。

また、「49のキリストの品性」ワークショップでは、『その13 決心⇔臆病』から分かち合いました。定義において、「仕事に払うべき犠牲や要求される内容を十分考えること、その仕事は、どんなに犠牲が必要であろうと成し遂げるに値する。という決断（覚悟）を前提条件とします。」とあり、ここにクリスチャンビジネスマンとしての心構えが記されていることが学びました。また、エサウの長子の相続権についての認識の甘さ（長子の相続権を軽んじた点と目の前のごちそうに心奪われたこと）により、それが二心となり、決心（覚悟）の妨げになること。またそれとは逆にモーセがイスラエルの子らと共に苦しむことを選択した決心（覚悟）が御心に叶い、エジプトを脱出するという主の栄光をみることに繋がった点などをワークショップの仲間と分かち合うことが出来ました。やはりFGBは素晴らしいなと感じました。

「見よ、兄弟が共に座っている。

なんという恵み、なんという喜び。

かぐわしい油が頭に注がれ、ひげに滴り

衣の襟に垂れるアロンのひげに滴り

ヘルモンにおく露のように

シオンの山々に滴り落ちる。」（詩篇133：1～3）



FGBジャパンニュース
フルゴスペル

FULL GOSPEL

発行人：FGBジャパン理事会 編集：FGBジャパン事務局

FGBMF1ジャパン事務局連絡先 〒510-0263 三重県鈴鹿市郡山町2000-2 Tel:090-1473-6113

E-mail:fgbjapan@ymail.ne.jp ホームページ:<https://fgbmfi-japan.org/>

郵便振替00820-6-124614 (加入者名) FGBMF1ジャパン

第 259 号(ホームページ第 3号)

(2025 年12月)